

資料7

農業革新支援専門員プロジェクト課題計画(令和3年度)

課題NO.	2		
課題名	ICT技術を活用した新たな普及活動の実践		
計画期間	令和3年度		
対象名及び対象数	<ul style="list-style-type: none"> 県内の普及センターに所属する普及指導員 		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による現地活動の制約や普及指導員研修等が中止されており、今年度実施した普及指導員に対するアンケート結果では、普及活動に影響を感じたと回答した割合は60%を超えている。 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、普及指導員の現地活動時間は減少している。 現在、国の普及指導員研修や本県における現地での支援については、一部オンライン会議システムを活用して行われている。 普及活動のICT活用は、必要な機器の整備の遅れや実施方法が確立されていないことから実践が進んでいない。今後機器の整備に合わせ、普及指導員個々の経験値を高めていくことが必要である。 ICTを活用した普及活動については、新型コロナウイルスの感染症の影響に地域的な差もあることから、普及指導員の経験値にも差が生じている。 ICT活用による普及活動は始まったばかりであり、そのあり方や手法について検証を行うことが必要である。 働き方改革が推進されており、ICT活用は、会議や研修等に係る移動時間等の削減に向けた取組としても効果が期待できる 		
期待される対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> 普及指導員が、ICTを活用した普及活動手法の習得ができる。 普及指導員、革新支援専門員による、ICTを活用した活動(会議・研修を含む)が積極的に実施される。 		
県実施方針上の関連項目	-		
担当チーム員	農業革新支援専門員	担当班及び進行管理責任担当者	農業革新支援専門員チーム 農業普及指導専門監
成果指標	令和3年度		
	定性的目標 <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した普及活動手法の習得ができる。 ICTを活用した現地活動(会議・研修を含む)が積極的に実施される。 		
	定量的数値目標 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度を基準とした普及指導員の現地活動時間の割合 	R1 94%	R2 → 88%
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数 98日)		
	活動事項 <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した研修等の実施(20日) ICTを活用した会議、研修等の実施(50日) ICTを活用した、普及活動の実態調査と効果の検証(28日) 		
関係機関の主な役割分担項目			
関連事業名と役割			